

特別支援学級のための音楽鑑賞教材研究Ⅱ

～実演奏による鑑賞授業(1)～

宮下 茂

A study on the Teaching Methods
in Music Education of Physically & Mentally Handicapped Children Ⅱ
～ Planning the concerts for Blind school children (1)～

Shigeru MIYASHITA

I はじめに

筆者は、平成19年2月23日に長崎大学教育学部附属養護学校（現特別支援学校）で開催された公開研究発表会に於ける中学部指導助言者の任を得た。それを切っ掛けとして、特別支援学校での音楽授業の内容に興味を抱いたと同時に、演奏家としても同様の興味を抱いた。そして筆者の指導活動や演奏活動を特別支援学校の生徒に役立てることや、どのようにすれば役立てることができるか等を考えるようになった。

その後、約1年間にわたり特別支援学校並びに盲学校に於いて授業観察を行い、音楽授業に於ける指導目標として筆者の考えを明らかとした。（註1）

そのような中、平成19年度文化庁芸術家派遣事業派遣講師の任を得て、同年6月6日から3回に亘り長崎県立盲学校幼少部に於いて音楽授業を行う機会を得た。

1回あたり60分の授業では、歌唱指導と鑑賞授業を半々に行った。

本論分では、筆者の行った実演による鑑賞授業の試行内容を考察し、児童並びに生徒の持つ様々な能力を伸ばす内容の音楽鑑賞プログラムの研究を行うものである。

II 長崎県立盲学校幼少部に於ける音楽授業観察

長崎県立盲学校幼少部に於ける音楽授業に先立ち、平成19年5月24日に同校幼少部の牟田秀子教諭による音楽授業の観察を行った。

長崎県立盲学校幼小学部では、幼児2名、第1学年から第6学年までの児童9名、合計11名の合同で、牟田秀子教諭を始めとする6名の教諭により音楽授業が行われていた。

筆者の観察した授業は、欠席等のため出席児童数9名、内全盲者5名、弱視者4名であったが、肢体不自由等障害の状況が異なるため、歌唱は6名、合奏は9名での授業であった。

授業内容は「世界のまんなかで」（新沢としひこ作詞、中川ひろたか作曲、松崎順司編

曲)「かたりあおう」(劇団四季文芸部作詞、鈴木邦彦作曲)の2曲の歌唱と「山のポルカ」(チェコ民謡、飯沼信義編曲)の合奏であった。

1コマ45分間の授業では1つの音楽活動を約15分単位で行い、①歌唱活動 ②合奏活動 ③授業のまとめの3活動を行っていた。またそれぞれの活動の中では、教師からの指導コメントのほか、児童の感想が常に発言されていた。

児童6名による歌唱は、体を前後に揺すりながら歌唱する児童が気になったことや高音の歌唱に困難さがあつたものの、一人一人の歌声が大きく、良い歌唱であり、歌詞、旋律、音程等も間違いなく歌唱されていた。

4年生男子A(全盲)の感想は、「4番の『ラララ…』をもっとはっきりと歌いましょう」「口を開いて歌いましょう」等であり、歌唱目標のはっきりとした客観的な発言が聞かれた。

児童9名による合奏は、階名で一度歌唱した後、①鍵盤ハーモニカ3名 ②リコーダー2名 ③打楽器4名(スネア、木琴、鈴、タンブリン各1名)の3グループに別れ練習を行い、鍵盤ハーモニカとリコーダーで合奏練習を行った後、全体で合奏を行った。

2年生男子B(全盲)の感想は、「みんなで合わせてきれいになったので良かった」であり、3年女子C(全盲)の感想も同様に「みんなで合わせて上手だったのできれいでした」であった。

しかし、3年生男子D(強度弱視)の感想は、「ハーモニカでシの指とドの指が小指だから、移動を早くするのが難しかった」、3年生男子E(全盲)の感想は、「いっしょに合わせてみて、少し弾く所を間違えたので、今度合わせる時は、間違えないようにしたい」であり、やはり演奏目標のはっきりとした客観的な発言であった。

Ⅲ 授業観察内容から見た鑑賞授業計画

この章では、大まかな授業計画を述べる。

前述の授業観察では、45分の授業を15分の活動3セットに分けて行い、教師も児童もその時間配分に慣れている様子であった。

筆者の派遣授業は60分の授業に対し、歌唱と鑑賞の2つの内容を希望されていた。そのため、1回の授業を15分の活動4セットに分けて行うこととし、歌唱と鑑賞を交互に行うこととした。

また授業観察の中で、歌唱に対する修正意見をはっきり述べる児童の発言や、合奏の後の客観的な反省意見のほか、「自分は上手いかなかったが、みんなで〇〇で良かった(きれいだった)」等、客観的な感想が述べられていたことが特に印象的であった。

これら観察内容から、盲学校の児童は客観性に優れ、自分の演奏を他の児童の演奏に合わせる能力、そのための音に対するすばやい反応、また周りの音を聞き取る能力に優れていることが分かった。歌唱での歌声の大きさについても、自分が歌っている声への関心よりも、周りの児童の歌声への意識が勝っている現われと考えられた。それら児童の持つ能力を確かめる目的から、音楽の中から聴こえる自然描写の聞き取りを試みることにした。

また児童の発言内容から、年齢よりも大人びた発言が聞かれ、子供らしさに囚われない鑑賞プログラムも可能であると考えられた。そのことから、世界の愛唱歌による懐かしさ

等く歌の心」の聴き取りを試みることにした。

尚、15分の鑑賞活動プログラムの中で、筆者の意図する曲目を多数演奏するために、特別な場合を除き歌詞は日本語とし、繰り返しのある曲は第1節または第1・2節のみの歌唱とした。

Ⅳ 長崎県立盲学校幼少部での実演による鑑賞授業

具体的な鑑賞授業内容として、鑑賞授業全体の総合的テーマに「歌と音楽のおもしろさ」を打ちたて、各回のテーマを以下に設定した。

- 第1回テーマ「歌のおもしろさ（季節の歌～どんな季節？何を思い出す？）」
- 第2回テーマ「音のおもしろさ（音の描写～どんな音？何の音？）」
- 第3回テーマ「歌のおもしろさ（世界の歌）」

1. 第1回鑑賞授業の実施

第1回目の鑑賞授業では、テーマに「歌のおもしろさ（季節の歌～どんな季節？何を思い出す？）」を設定し、平成19年6月6日（水）11：30～12：30の派遣授業の中で実施した。

15分間の鑑賞を2セット行い、それぞれのテーマを①「季節の歌（唱歌集）Ⅰ：春～夏」②「季節の歌（唱歌集）Ⅱ：秋～冬」とした。

コメントと演奏を交互に行い、コメントでは「香り」「触感（触る、温もり、冷たさ）」「音」に関連する話を行った。

曲目、選択曲のテーマ、コメント内容等、具体的な内容は【表1】【表2】を参照されたい。

【表1】鑑賞指導内容1「季節の歌（唱歌集）Ⅰ：春～夏」
（コメント時間＋演奏時間＝合計15分）

曲順	選択曲のテーマ	コメント内容（台本）	曲目
1	歌には様々な季節がある	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間には、「春・夏・秋・冬」、4つの季節があります。皆さんの知っている歌にも、4つの季節があります。今日は様々な季節の歌を聴きましょう。 ・まずは、夏に近づく今の季節の歌を聴きましょう。 	茶摘 (文部省唱歌) (第1節のみ演奏)
2	春の香り	<ul style="list-style-type: none"> ・「春」で思い出すのは何かな？春に感じるもの、例えば「匂い」。春が近づくと「梅の花」が咲き、そして「桜の花」が咲き…、ほんのり甘い花の香りがするかもしれません。 ・春の香りを思い出しながら聴きましょう。 	春が来た (高野辰之作詞、岡野貞一作曲) (第1・2節のみ演奏)

3	夏の手前	<ul style="list-style-type: none"> ・夏が来る前に、雨降りの季節になります。 ・雨が大好きな生きもの「カタツムリ」。触ったことがありますか？触るとカラに隠れるけど…、いつもはいばってツノを出します。 ・そんなカタツムリの歌を聴きましょう。 	かたつむり (文部省唱歌)
4	夏の香り	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて夏の香りの歌を聴きましょう。 	夏はきぬ (佐佐木信綱作詞、小山作之助作曲)
5	夏の音	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い夏には様々な音があります。「涼しげな音」、例えば「海の音」「波の音」。 ・海の音を思い出しながら聴きましょう。 	うみ (林柳波作詞、井上武士作曲) (第1・2節のみ演奏)
6			われは海の子 (宮原晃一郎作詞、文部省唱歌) (第1・2節のみ演奏)
7			花火 (井上赴作詞、下総皖一作曲) (第1節のみ演奏)

【表2】鑑賞指導内容2「季節の歌（唱歌集）Ⅱ：秋～冬」
(コメント時間+演奏時間=合計15分)

曲順	選択曲のテーマ	コメント内容(台本)	曲目
1	秋の気分	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さも終わってホッと一息。夏の刺すような日差しが終わり、暖かな秋の日差しになると、山の木々も、暖かみを増します。その代表的な木が「もみじ」です。 	もみじ (高野辰之作詞、岡野貞一作曲)
2	秋の音	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の音は、とても楽しくにぎやかにこだまします。 	虫のこえ (文部省唱歌)
3			村祭 (葛原しげる作詞、南能衛作)

			曲) (第1・2節の み演奏)
4	秋の気分	・にぎやかな楽しい時間が終わると、少し寂しい気分になります。	叱られて (清水かつら作 詞、弘田龍太 郎作曲)
5	冬の音	・長崎ではあまり経験できないけれど…寒い冬には雪が降ります。雪が積もると、雪踏み…「サクサク」、「ザクザク」…足元から色々な音が聞こえます。	雪 (文部省唱歌)
6	冬の気分	・冬の夜は、とても寒くて静かです。しかし、暖炉のまわりは暖かく、楽しいおしゃべりの花が咲くでしょう。	ペチカ (北原白秋作 詞、山田耕筰 作曲) (第1・5節の み演奏)
7	また春が来た	・一年が過ぎ、再び春がやってくると、淡い花の匂いが漂います。	おぼろ月夜 (作詞者不詳、 岡野貞一作曲)

2. 第2回鑑賞授業の実施

第2回目の鑑賞授業では、テーマに「音のおもしろさ（音の描写～どんな音？何の音？）」を設定し、平成19年6月13日（水）11:30～12:30の派遣授業の中で実施した。

前述の授業観察の中で児童は初めての合奏を行っていた。その演奏は初めて合わせたとは思えないよく揃った演奏ができていた。

その観察内容から、盲学校の児童は自分の演奏を他の児童の演奏に合わせる能力、そのための音に対するすばやい反応、また周りの音を聞き取る能力に優れていることが考えられた。また歌唱での歌声の大きさについても、自分が歌っている声への関心よりも、周りの児童の歌声への意識が勝っている現われと考えられた。

それらの考えから児童の優れた能力を確かめる意味もあり、この授業では自然音と演奏（音楽）を組み合わせた鑑賞を試みることにした。

15分間の鑑賞を2セット行い、それぞれのテーマを①「自然の音」 ②「物語の音」とした。

尚、今回鑑賞する自然音は、市販の効果音CD（註2）の中から筆者のイメージにできるだけ近い音を選択し、鑑賞授業に加えた。

また、レーヴェ作曲「オールフ氏」（部分）と「詩人のトム」は、言葉の意味に集中せず単純な音としての音楽に集中することを意図して、ドイツ語での原語歌唱とした。

曲目、選択曲のテーマ、コメント内容等、具体的な内容は【表3】【表4】を参照されたい。

【表3】鑑賞指導内容3「自然の音」(コメント時間+演奏時間=合計15分)

テーマ	コメント内容(台本)	順序等	効果音	曲目
自然の音	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの周りにある様々な音を、教室から外に飛び出して聞いてもらいたいのですが・・・、代わりに様々な音を教室に持ってきました。 ・想像力を働かせると、ピアノの音の中からも、様々な音が聞こえてきます。 ・今回はピアノを主役に、様々な音を聴いてもらいます。 	1. 話		
風の音	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば「風の音」。考えてみると風自体には音がありません。風が通ると様々な物にぶつかって、様々な音が聞こえてきます。 ・狭い所を通ると「ヒュー」、笛の中を通ると「ピー」、窓にぶつかって「ガタガタ・・・」、ドアにぶつかって「バタン!」。これは、何の音かな? 	2. 効果音	「笹を揺らす静かな風」	
木の葉を揺らす風の音	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な作曲家シューベルトの歌「菩提樹」。 ・「菩提樹」は、ドイツにたくさんはえている大きな木。風は、その「菩提樹」のたくさんの葉を揺らします。その様子を、シューベルトはピアノの音で聴かせてくれます。 	3. 歌唱		菩提樹 (門馬直衛訳詞、シューベルト作曲) (第1節のみ演奏)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「木の葉をゆらす風の音」が聴こえたかな? ・こんな風に、音楽の中から色々な音が聴こえることがあります。 ・次の音はこんな音・・・。 	4. 効果音	「静かな波」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの音も良く聞くと、寄せては返す「波の音」のようにも聴こえます。 	5. ピアノ		浜辺の歌(林古溪作詞、成田為三作曲)のピアノ伴奏

「海の音」 「波の音」		6. 歌唱		浜辺の歌の演奏（歌唱）
	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜辺の歌」。よく聴くと「寄する波も～」のところで、「ゴツゴツ、ボコボコ」した感じがありました。こんな波のように…。 ・これは、波が岩にぶつかる音です。 	7. 効果音	「磯波」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「砂山」ではピアノの音も良く聞くと、「波が岩にぶつかる音」のようにも聴こえます。 	8. 歌唱		砂山（北原白秋作詞、中山晋平作曲） （第1・2節のみ演奏）
雨の音	<ul style="list-style-type: none"> ・これから（6月には）「雨の季節」、「梅雨」がやってきます。するとこんな音が、よく聞こえてくるようになります。 ・雨が降ると「シトシト」雨音がこだまします。 	9. 効果音	「屋根にあたる雨」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「あめまめふれふれ母さんが…」という歌もありますが…。 ・ショパンの有名なピアノ曲に「雨だれ」があります。 ・しっとりとしたピアノソロを聴いてみましょう 	10. ピアノ		「24の前奏曲」から第15番「雨だれ」（ショパン） （冒頭部分のみピアノ演奏）
川の流れる音	<ul style="list-style-type: none"> ・「水道の流れる音」にも聞こえますが…。 ・これは「川の流れる音」です。 	11. 効果音	「小さい流れ」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏から「川の流れる音」や「お魚のマス」が飛び跳ねるように泳ぐ様子が聴こえてきます。 	12. 歌唱		ます （青木忠教訳詞、シューベルト作曲）

【表4】鑑賞指導内容4「物語の音」
(コメント時間+演奏時間=合計15分)

テーマ	コメント内容 (台本)	順序等	効果音	曲目
お 話 の 歌	・まずは一曲聴きましょう。	1. 歌唱		桃太郎 (文部省唱歌、 岡野貞一作曲) (第1・2節の み演奏)
	・みんなも知っている「桃太郎」のお話の歌でした。 ・他にもお話になっている歌がたくさんあります。 ・次に歌う歌は、小さなムシ「ノミ」のお話です。「ノミ」は、人や動物にくっついて、血を吸ういやなムシです。「ノミ」に住みつかれると、体中痒くて、痒くてたまりません。 ・そんな「ノミ」を「王子」のようにかわいがる「王様」のお話です。	2. 歌唱		のみの歌 (堀内敬三訳 詞、ムソルグ スキー作曲)
お 話 の 中 の 効 果 音	・お話の歌はたくさんありますが…。 ・お話の中の音をピアノで鳴らして、よりおもしろい歌を作ろうとした作曲家もいます。 ・例えばこの音は、「大きな時計の鐘の音」です。	3. 効果音	「12時の鐘」	
	・この音を、ピアノでこのような音にしています	4. ピアノ		レーヴェ作曲 「時計」から鐘 の音部分 (ピアノソロ) 【譜例1】
	・同じ鐘でも、この音は「教会の鐘の音」です。	5. 効果音	「教会の鐘」	
	・その教会の鐘が結婚式の日に鳴ったら、このような音と歌が聴えてきます。	6. 歌唱		レーヴェ作曲 「オールフ氏」 から 教会の鐘音部 分

				(ドイツ語歌唱 付で演奏) 【譜例2】
「詩人のトム」の音	<ul style="list-style-type: none"> ・バラード「詩人のトム」。この歌では、ピアノから様々な音が聞こえてきます。 ・最初の部分では、このような音が聞こえてきます。 	7. 効果音	「奥入瀬の流れ」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・よく聞くとこんな音も聞こえます。 ・これは、規則正しく動く「水車小屋の音」です。 	8. 効果音	「水車」	
「詩人のトム」のお話を音で紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは自然の音を聞きながら、「詩人のトム」のお話を紹介しましょう。 ・場所はハントリー城の近く、キーゼル川のほとり…。 ・詩人のトムが、のんびりと横になって、「詩」を考えていました。 ・たとえば、こんな風に…。 	9. 効果音	「百花繚乱(花が咲き乱れる、蝶が舞う)」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・そこへ美しいブロンドの女性が白馬に乗ってやって来ます。 ・馬には銀の鈴が付いていました。 ・女性が馬のひもを引くと、銀の鈴が明るく響きました。 	10. 効果音	「馬車と鈴の音」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・トムは、帽子を取って跪き。挨拶をしてこう言います。「あなたは、天国の女王様。この世の人ではありません。」。 ・すると、その女性は…、「私は天国の女王ではありません。妖精の女王です。」。 ・そして、魔法の呪文のように続けてこう言います。 	11. 効果音	「魔法をかける」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「私といっしょに行きたければ、7年間、帰ってこれませんよ。」。 ・するとトム…、「7年間、恐ろしいことなどありません。」。 ・それを祝福する、小鳥のさえずりが聞こえます…。 	12. 効果音	「ヒバリ」	

	<ul style="list-style-type: none"> ・そして、暖かい太陽の日差しの中、二人は白馬に乗って、幸せそうに駆けていきました。 	13. 効果音	「ウマ2 (一頭 走行通過)」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・妖精が馬の紐を引くと、銀の鈴が明るく響きました … とさ。 	14. 効果音	「馬車と鈴の音」	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語で歌います。 ・どんな音が聞こえてくるか、ピアノの音から想像しながら聞いてください！ 	15. 歌唱		詩人のトム (ドイツ語歌唱、レーヴェ作曲)

【譜例1】レーヴェ「時計」から鐘の音部分

【譜例2】レーヴェ「オールフ氏」から教会の鐘音部分

Früh Mor-gens,

als der Tag kaum war, da kam die Braut mit der Hochzeit - schar.

(以下、次号へ続く)

註釈

(註1)、論文題目「特別支援学級のための音楽鑑賞教材研究Ⅰ～音楽授業観察による指導目標の考察～」宮下茂、長崎大学教育学部附属教育実践総合センター紀要、2008. 3第7号、91-96、2008年3月 参照。

(註2) 今回の鑑賞授業では、以下の効果音CDを自然音として使用した。

CD資料『自然～コロンビア効果音全集(1)』(COCE32865)

- 波
 - 2. 静かな波
 - 3. 磯波
- 流れ
 - 11. 小さい流れ
 - 17. 奥入瀬の流れ
- 風
 - 21. 笹をゆらす静かな風
- 雨
 - 30. 屋根にあたる雨

CD資料『動物・鳥・虫・蛙～コロンビア効果音全集(2)』(COCE32866)

- 動物
 - 18. ウマ2 (一頭走行通過)
- 鳥
 - 40. ヒバリ

CD資料『行事・風物・売り声・梵鐘～コロンビア効果音全集(3)』(COCE32867)

- 風物
 - 13. 水車

CD資料『アニメSE～コロンビア効果音全集(7)』(COCE32871)

- おとぎ話・昔話に出てくる音
 - 34. 教会の鐘
 - 35. 12時の鐘
 - 38. 馬車と鈴の音
 - 41. 魔法をかける
 - 43. 百花繚乱 (花が咲き乱れる、蝶が舞う)